

平成30年度事務事業評価 平成31年度以降開始事業事前評価一覧

No.	事業名	属性			担当部署	事業概要	実施年度		事業費（千円）			審査会評価
		マニフェスト	主なマニフェスト名	復興計画			開始	終了	H31（見込）	H32（見込）	H33（見込）	
131	走潟小学校舎の津波避難利用の検討	③	③走潟小学校舎の津波避難利用の検討	—	総務部 危機管理課	走潟小学校舎の津波避難のため、屋上利用のための方策を検討する。	平成31年度	平成32年度	0	0	0	走潟地区の住民が、安心・安全に緊急避難場所として利用できるような整備を進めていただきたい。
133	避難所の防災機能強化事業	—	—	—	総務部 危機管理課	宇土市復興まちづくり事業計画（p.9～）に基づき、災害が発生した場合、避難所として有効に機能するよう、非常用電源や防災井戸・防災トイレの整備を行います。 高齢者や障がい者等の要配慮者をはじめ、多くの方が利用しやすい避難所となるよう、トイレをはじめとする環境改善に取り組みます。	平成31年度	平成33年度	201,390	210,227	222,351	安全面や衛生面を考慮し、要配慮者含む多くの避難者の大規模災害の長期避難にも対応できるよう、防災機能の向上を行っていただきたい。 また、トイレや照明等は、通常時にも活用できる設備を選定していただきたい。
226	若者のまちづくり活動への参加支援策の検討	③	③若者のまちづくり活動への参加支援策の検討	—	企画部 まちづくり推進課	地元で活動している団体を広報うと、市ホームページ、フェイスブック等で紹介し、若者が地域活動を知る機会を提供する。また、若者グループの交流の場を提供する。 【達成基準】 ・広報うと掲載回数を10回以上 ・若者グループの交流の場（ふれあい座談会）の提供、年1回以上	平成31年度	平成33年度	0	0	0	地元で活動している団体等の情報提供は、若者のまちづくり活動への参加促進だけでなく、当該団体と連携・活用する他団体や市民等との交流促進も図れる。 「市民ふれあい座談会」等現在実施している事業と併せ、有効な情報提供手段を検討の上実施していただきたい。
322	宇城クリーンセンターの更新建て替え【広】	③	③宇城クリーンセンターの更新建て替え【広】	—	市民環境部 環境交通課	宇城クリーンセンター（更新）の稼働	平成29年度	平成35年度	4,077	45,245	218,698	廃棄物の処理及び清掃において、宇城クリーンセンターの更新（新設）が必要だが、稼働に向けた宇土市への影響についても、適宜把握・検証していただきたい。
323	防犯カメラ設置事業補助金	—	—	—	市民環境部 環境交通課	目的：犯罪防止と安全な生活環境の形成 手段：防犯カメラを設置しようとする区や地域の防犯活動グループに対し、カメラの設置費用を補助する	平成31年度	未確定	1,000	1,000	1,000	犯罪防止と安全な生活を送るために防犯カメラは必要であるが、効果的な場所に設置できるよう、補助制度創設にあたり設置場所の限定やプライバシーに配慮した内容でいただきたい。
526	海苔共同利用施設の設置支援	③	③海苔共同利用施設の設置支援	—	経済部 農林水産課	海苔共同利用施設を設置する際に必要な土地の無償貸出を行うことで支援する。	平成31年度	平成33年度	0	0	0	海苔共同利用施設の設置は、漁業者の経営安定や新規就業者確保にも関わるため、その後押しが出来るよう、必要な土地を適切に把握し実施していただきたい。
527	あさり潮干狩り事業の環境整備支援	③	③あさり潮干狩り事業の環境整備支援	—	経済部 農林水産課	潮干狩り事業を行う際に必要な環境整備（駐車場の砂利敷き整備）を行う。 【参考（既整備内容）】 H29年度 駐車場整備（敷砂利）A=1,530m2 ※本整備は、6/20～6/21大雨災害対策経費（H28）による、平成29年度長浜漁港浚渫土砂撤去災害復旧工事の一環で一部（グラウンド東側）整備済。	平成31年度	平成31年度	1,300	0	0	約20年ぶりの本格的な観光潮干狩りとしてメディアに取り上げられ注目されているため、来客者にとって利用しやすいだけでなく、シーズンオフ時の活用法を踏まえて整備していただきたい。
543	網津第二排水機場の強化更新（農業水路等長寿命化・防災減災事業）	③	③網津第二排水機場の強化更新	—	経済部 農林水産課	現存する網津第二排水機場の受益地内において、新たに排水ポンプを設置し、地域の湛水時間の短縮を図る。 事業実施の準備として、基本計画策定業務を平成31年度に実施するが、事業実施自体は国庫補助を受ける平成32年度から3年間の平成34年度までとなる。	平成31年度	平成34年度	3,000	30,000	100,000	湛水被害に悩まされている地区であるため、近年の自然災害の増加に対応するため、早急かつ計画的な事業実施をお願いしたい。
553	中心市街地での解体空地活用事業	③	③中心市街地での解体空地活用事業	—	経済部 商工観光課	震災により被災した中心市街地の空地が新たに駐車場等に活用されることで、商店等の利用者が現状よりお買い物等に便利になり、人が行き交う活気がある中心市街地をめざします。 【達成基準】 解体空地を駐車場として利用する場合に支援するための補助金要綱を制定し、中心市街地の空地を解消（駐車場化）。	平成31年度	平成31年度	10,000	10,000	10,000	空き地の把握や需要調査により、効果的・効率的な事業設計を行い、シルバー元気応援ショップ認定制度事業や宇土市商店街にぎわいづくり補助事業等他事業との関連させた実施の検討を行っていただきたい。

No.	事業名	属性			担当部署	事業概要	実施年度		事業費（千円）			審査会評価
		マニフェスト	主なマニフェスト名	復興計画			開始	終了	H31（見込）	H32（見込）	H33（見込）	
554	西部地区での民泊業推進	③	③西部地区での民泊業推進	—	経済部 商工観光課	西部地区（主に干潟景勝の地）への観光客に対する宿泊場所として、地域の人々が空き家や空き部屋を民泊施設として提供できるように推進し、西部地域の活性化と観光客の増加をめざします。 【達成基準】 民泊推進のため相談窓口を設置し、既存の「空き家バンク登録物件補助金」を民泊施設の改修へも対象となるよう拡充することにより、西部地域における民泊事業の実施できるよう支援する。	平成31年度	平成32年度	0	500	500	空き家・空き部屋を活用した民泊については、宇土市より充実した自治体があると思われるので、そのノウハウを得ながら関係課と連携し実施していただきたい。